

23/6/3 名古屋城バリアフリー市民討論会はなぜ開催されたか

23/7/25 名古屋市民オンブズマン 内田隆

0 自己紹介

税金の無駄使いを追及する市民団体「名古屋市民オンブズマン」事務局。

名古屋城木造復元に賛成・反対の前に、どのような名古屋城になるのか情報を市に開示させた上で、市民の議論を踏まえて決めるべきというスタンス。

2015年度から、名古屋城木造復元事業について有識者会議・市議会・市民説明会を傍聴しレポート（延べ100万字超）。各種情報公開請求も。

<http://www.omnagoya.gr.jp/tokusyuu/goten/index.htm>

<https://ombuds.exblog.jp/i33/>

1 名古屋城復元事業の経緯

※大前提 名古屋城跡は特別史跡。文化庁の現状変更許可が必要。

復元には文化庁復元検討委員会の審議を経る必要あり。

- ・1610年 築城開始
- ・1945年 空襲で焼失
- ・1959年 鉄骨鉄筋コンクリート造で再建
 - 7階建て 5階まで大型エレベーター2台あり
 - 工事費6億円のうち2億円は寄付

※設備の老朽化や耐震性確保の課題あり

- ・2009年4月 河村市長当選
- ・2011年2月 「現天守耐震診断概要書」【資料1】
 - 耐震改修 13億5047万0205円
 - エレベーター改修 1億6000万円 1台を7階まで延伸
 - <https://ombuds.exblog.jp/29105934>

- ・2012年12月「全体整備計画増補版」
 - 『現在の鉄筋天守を活用していく』
- ・2015年8月 河村市長「指示書」【資料2】
 - まず木造復元、その後石垣

<http://www.nagoya.ombudsman.jp/castle/shijisho.pdf>

☆河村市長「入城料収入だけでまかなう」年間約360万人50年間

- ・2016年5月に名古屋市民2万人アンケート 回収率36.5%
 - 2020年までに木造 21.5%
 - 2020年にとられず木造 40.6%
 - 耐震改修（約29億円、約40年の寿命） 26.3%

- ・ 2016 年 10 月 名古屋市民オンブズマン
「専決処分を許さない」申入書
<http://www.nagoya.ombudsman.jp/castle/161025.pdf>
- ・ 2017 年 5 月 竹中工務店と基本協定締結（2022 年末までに完成 工事費 505 億円）
- ・ 2018 年 5 月 付加設備の方針「エレベーターは付けない」【資料 3】
https://www.nagoyajo.city.nagoya.jp/save/tenshu_information/mokuzoutenshu_fukasetsubi.pdf
- ・ 2019 年 8 月 2022 年末復元を断念
- ・ 2021 年 3 月 名古屋市民オンブズマン
「市民説明会 ポストコロナ時代の情報発信を求める」
<http://www.nagoya.ombudsman.jp/castle/210302.pdf>
- ・ 2021 年 3 月 市議会委員会附帯決議
「木材購入は文化庁文化審議会で正式に許可された後」
現在木材約 40 億円購入済 保管費用年間約 1 億円
- ・ 2022 年 3 月 文化庁への出張復命書 文化庁と市職員やり取り、
竹中ノウハウ以外公開命令 【資料 4】（当初開示）
- ・ 2022 年 10 月 日弁連が市長に要望書
<https://www.nichibenren.or.jp/document/complaint/year/2022/221024.html>
- ・ 2022 年 12 月 新昇降技術 最優秀者決定
(MHI エアロスペースプロダクション
小型昇降技術(小型車いす 1 台 + 介助者 1 名 最低でも 1 階 できるだけ上を目指す)
公募に 1 億 4300 万円
技術開発費用 上限 8000 万円
実機導入 上限 2 億円
- ・ 2023 年 3 月 市「復元は順調にあって 2032 年度」
市長「外部の鉄骨スロープはいかん」
- ・ 2023 年 4 月 無作為抽出 5000 人にアンケート
- ・ 2023 年 6 月 バリアフリー市民討論会 回収率 29.0%
昇降技術設置しない：23.4%
1 階まで昇降技術：16.9%
5 階まで昇降技術：47.2%
- ・ 2023 年 6 月 市「復元事業は検証が終わるまで進めない」
名古屋城所長「市長の日ごろからの言動に対して『忸怩たる思い』がある」
市「問題点を明らかにするためにはもしかしたら 1 年程度」

2 木造復元事業 当初からの課題

- 1) バリアフリー
- 2) 基礎構造
- 3) 天守台石垣保全方針
- 4) 耐震・耐火・避難計画・最上階入場制限
- 5) 収支計画

3 根本原因はなにか

- 1) 技術提案・交渉方式を採用
- 2) 河村市長「まず天守復元。4年でできる。その後石垣修復」
- 3) 河村市長の「本物」論
- 4) 情報公開の不徹底、市民意見を反映せず

4 「バリアフリー市民討論会」自体の問題

- 1) アンケート質問項目、市民討論会を市議会で事前説明せず
- 2) アンケート・討論会開催業務を、名古屋城発注者支援業務会社に委託
司会進行等をまちづくりコンサルト会社に再委託
- 3) 資料追加を市長が指示【資料5】
『建築基準法の逐条解説』『昇降設備がありとなしの部分の違い』
- 4) 式次第を事前説明せず
- 5) 無作為抽出 5000 人の内、参加希望者 36 名が参加（定員 100 人）
うち車いす障害当事者 1 名
- 6) 当日、受付で本人確認せず

※OECD で示された「ミニ・パブリックス」活用ガイドライン <https://qr.paps.jp/j3Pqw>

- ①目的 ②アカウントビリティ ③透明性 ④参加の包括性 ⑤代表制 ⑥情報
- ⑦グループ討論 ⑧時間 ⑨高潔さ ⑩プライバシー ⑪評価

5 23/6/3 市民討論会前の名古屋市内部の状況

前代未聞！河村市長と松雄副市長と局の考えがバラバラ

- ・22/11/24 評価員が MHI を最優秀候補に選ぶ
- ・22/11/29 市長の意向「3階までしか認めない」
- ・22/12/5 局「1階までは確保。より上層階を目指す」
同時刻 市長「1, 2階まで。合理的配慮と言える」
- ※市長、副市長に「エレベーターを付けないとした公約違反」意見多数
- ・23/1 副市長「当初は設置せず復元を進めて後から設置する」
もしくは「1階まで設置する」と指示
- ・23/3/7 副市長「1階は確保、より上層階を引き続き検討。」

- 今一度市民の意見を聴取する機会を設ける。最終的には市長の判断を仰ぐ」
- ・ 23/4 副市長「2023年8月復元検討委員会を目標に文化庁に提出するため」アンケート等指示

6 23/6/3 市民討論会後の予定（当初案）

- ・ 23/6/5 バリアフリー検討会議
- ・ 23/6/6 名古屋市議会経済水道委員会
- ・ 23/6/12 全体整備検討会議
- ・ 23/6/15 名古屋市議会経済水道委員会
- ・ 23/6/20 市長が文化庁に基本計画書を持参
- ・ 23/8 文化庁復元検討委員会

7 今後どうしていくか

- ・ 木造名古屋城が「差別の象徴」に？
- ・ 姫路城 フラットバーで耐震補強
- ・ MHI 昇降技術をどう見るか
- ・ 23/6/3 検証のための第三者委員会設置を
- ・ そもそもどうしてこんなずさんな計画が進んだ？

市議会は100条委員会設置の検討を

- ・ 国際人権基準専門家 藤田早苗氏
人権の実現は「思いやり」では不十分。

「生まれてきた人間すべてに対して、その人が能力を発揮できるように、政府はそれを助ける義務がある。その助けを要求する権利が人権。人権は誰にでもある。」

（国連人権高等弁務官事務所）

<https://www.youtube.com/watch?v=TXJNVM-nHqo>

- ・ 情報を公開した上で、真の意味での「熟議民主主義」を求める

名古屋城天守閣耐震改修等工事 概算工事費総括

工種1	工種2	工種3		Is \geq 0.60			Is \geq 0.75		
				大天守閣	小天守閣	合計	大天守閣	小天守閣	合計
耐震改修工事	建築工事	A	直接工事費	493,371,940	9,338,148	502,710,088	627,000,340	14,234,708	641,235,048
		B	諸経費	99,408,390	1,881,522	101,289,912	124,928,712	2,836,240	127,764,952
		C	消費税	29,639,017	560,983	30,200,000	37,596,453	853,547	38,450,000
			合計	622,419,347	11,780,653	634,200,000	789,525,505	17,924,495	807,450,000
	電気設備工事	A	直接工事費	224,622,000	240,000	224,862,000	249,593,100	2,350,000	251,943,100
		B	諸経費	83,110,000	90,000	83,200,000	92,349,000	870,000	93,219,000
		C	消費税	15,386,600	16,500	15,403,100	17,097,105	161,000	17,258,105
			合計	323,118,600	346,500	323,465,100	359,039,205	3,381,000	362,420,205
	機械設備工事	A	直接工事費	89,635,000	49,140,000	138,775,000	89,635,000	49,140,000	138,775,000
		B	諸経費	31,794,508	17,430,492	49,225,000	21,460,082	11,764,918	33,225,000
		C	消費税	6,071,475	3,328,525	9,400,000	5,554,754	3,045,246	8,600,000
			合計	127,500,983	69,899,017	197,400,000	116,649,836	63,950,164	180,600,000
	耐震改修工事 合計				1,073,038,930	82,026,170	1,155,065,100	1,265,214,546	85,255,659
注) 耐震改修に伴う昇降機の改修工事費は含んでいません。									
エレベーター改修工事	建築工事	A	直接工事費	5,060,000		5,060,000	5,060,000		5,060,000
		B	諸経費	1,600,000		1,600,000	1,600,000		1,600,000
		C	消費税	333,000		333,000	333,000		333,000
			合計	6,993,000		6,993,000	6,993,000		6,993,000
	昇降機設備改修工事	A	直接工事費	106,400,000		106,400,000	106,400,000		106,400,000
		B	諸経費	39,368,000		39,368,000	39,368,000		39,368,000
		C	消費税	7,288,400		7,288,400	7,288,400		7,288,400
			合計	153,056,400		153,056,400	153,056,400		153,056,400
エレベーター改修工事 合計				160,049,400		160,049,400	160,049,400		160,049,400
改修工事合計						1,315,114,500			1,510,519,605

5-4 EV延伸計画に伴うスラブ開口新設に伴う検討

7階展示室までB1階からのEVを1台のみ延伸する計画があり、それに伴い、6階EV機械室、及び7階展望室の既存スラブに新設開口（2400 x 2600程度）を設ける必要がある。

（補強設計方針）

四辺固定で支持されていた既存のS4スラブが、新設開口により三辺固定（一端自由）の支持条件となる。その支持条件で計算し、既存配筋がNGとなる場合、炭素繊維によるスラブ筋の補強を行う。

（6階EV機械室）

- ・既存のEVを機械室レスタイプのEVと取り替える計画のため、現在EV機械室に設置されている巻上げ機等のEV設備機器は不要となる。そのため、機器設置のために配置されている増打コンクリート（軽量コンクリート $t=300$ ）も不要となるので、これを全面撤去する計画とし、重量の軽減化を図る。これにより、補強は不要となる。

（7階展望室）

- ・次項以降に示す検討結果より、スラブの下端筋は既存鉄筋で問題ないが、短辺及び長辺の両方向端部の上端筋が、既存の配筋ではNGとなってしまう。そのため、炭素繊維による補強を施す。

指 示 書

市民経済局長

宮 村 喜 明 殿

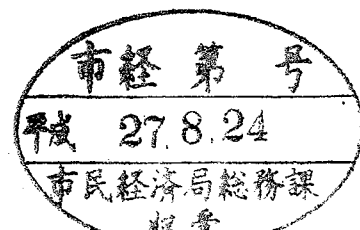
名古屋市長

河 村 たかし



- 1.名古屋城跡の具体的な復元整備計画を、速やかに策定すること。
- 2.復元整備計画は、まず本丸(大小天守、東北隅櫓、多聞櫓、門、石垣等)、二の丸(御殿、庭園、門、石垣等)を整備することとし、本丸天守の復元は、今秋から着手すること。
- 3.本丸天守の復元の手法については、技術提案交渉方式を採用するものとし、9月議会までに法的・技術的課題をクリアすること。また、技術提案交渉方式を進めるために必要な予算を9月議会に提出すること。
- 4.今後の名古屋城の維持・管理・運営について、新たに民間の知恵も導入すること。

以上、本件の全責任は私が取るので、各員全力で取り組まれない。



木造天守閣の昇降に関する付加設備の方針

1. 基本的な考え方

- ・本事業は、歴史時代の建築物等の遺跡に基づき、当時の規模・構造等により再現する「歴史的建造物の復元」を行うものである。
- ・名古屋城天守閣は、法隆寺のころから始まった日本の木造建築のひとつの到達点、究極の木造建築とも言われ、豊富な歴史資料をもとに外観の再現に留まらない史実に忠実な完全な復元を行うことの選択を議会、行政における検討や市長選挙での市民の信託を得て推し進めることとしたものである。
- ・市民の皆さまの中には、「一旦は焼失しているので復元しても本物の天守閣ではない」との意見もあるが、名古屋城天守閣は城郭として国宝第一号であったものが、大戦中多くの市民の命とともに昭和20年5月14日に空襲で焼失してしまったものの、残された石垣には空襲による傷跡も残っており、焼失中の写真も残されている。

その上で、市民の精神的支柱であり、誇りである名古屋城の天守閣を、悲しい歴史的史実を経て、昭和実測図や金城温古録等、豊富な歴史資料に基づき、戦災で焼失する前の本物の姿に復元すると世界に主張するものである。

したがって、過去の天守閣と今回の木造復元の同一性について、歴史的な分断を感じさせない復元を成し遂げる事が、事業の価値を決定づける大きな要素となる。

- ・50～100年で再度「国宝」になることを目指す。
- ・ゆえに、史実に忠実な復元を確保した上で、まず、2022年の完成時期に、その先においても世界の模範とされるべき改善を重ね、観覧、体験、バリアフリー環境を整備するための付加設備とする。

2. 現天守閣の現状

- ・現天守閣は5階までエレベーターで上がれるが、内部は博物館施設であり、本来の木造天守閣の内観を観覧することはできない。また、展望については、1階の東側及び北側の一部と7階の展望室からに限られているが、7階へは階段でなければ行くことができないため、車いすの方は展望ができない状況である。

3. 内部エレベーター

- ・内部エレベーターについては、柱、梁を傷めないものとして、史実に忠実に復元する天守閣とするためには、乗員が4人程度、かご（乗用部分）の大きさが幅80cm、奥行き100cm程度となり、乗ることができる車いすも小型なものに限定され、よく使用されている幅65cm、長さ100cm程度（電動車いすは幅65cm、長さ105cm程度）のものは利用できない。したがって、バリアフリー法の建築物移動円滑化基準に対応するエレベーターは設置できない。

4. 外部エレベーター

- ・都市景観条例を定めて、すぐれた都市景観の形成を進めている中で、景観計画により名古屋城の眺望景観の保全を図ることとしている。
- ・その眺望の対象である天守閣の歴史的な外観を損なうことから、外部エレベーターは設置しない。

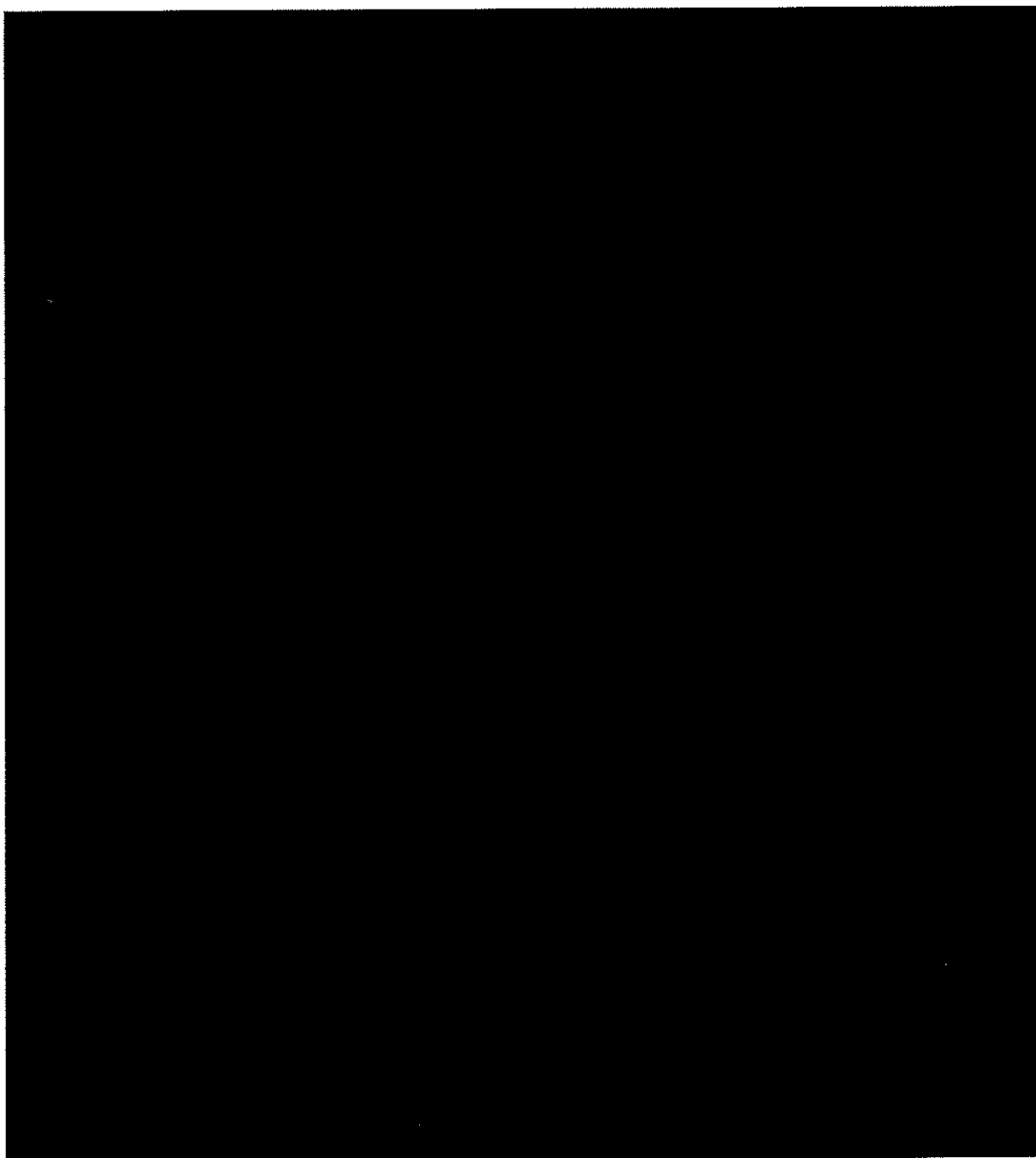
5. 基本方針

- ・史実に忠実に復元するためエレベーターを設置せず、新技術の開発などを通してバリアフリーに最善の努力をする。
- ・今回、木造復元に伴い、本来の天守閣の内部空間を観覧できるようにする。また、電動か否かによらず、車いすの方が見ることのできる眺望としては、現状1階フロアまでだが、様々な工夫により、可能な限り上層階まで昇ることができるよう目指し、現状よりも天守閣のすばらしさや眺望を楽しむことを保証する。
- ・例えば、昇降装置を有する特殊車両を応用し、外部から直接出入りすることや、ロボット技術を活用し、内部階段を昇降することなどが挙げられる。併せてVR技術を活用した体感施設の設置を行う。
- ・新技術の開発には、国内外から幅広く提案を募る。
- ・また、協議会を新たに設置し、障害者団体等当事者の意見を丁寧に聞くことにより、誰もが利用できる付加設備の開発を行う。
- ・姫路城や松本城など現存する木造天守にも転用可能な新技術の開発に努力する。
- ・再建後は元来の姿を見ることができるようになり、介助要員、補助具を配置することなどにより、今より、快適に観覧できるようにする。

平成30年6月13日 文化庁訪問

出席者

(文化庁)	文化財部長	山崎 秀保	
	記念物課長	大西 啓介	
	美術学芸課長	圓入 由美	
(名古屋市)	市長 特別秘書	東京事務所長	名古屋城総合事務所長



1. 木造天守復元

名古屋城「天守」の整備

○木造天守復元の意義

逐条解説建築基準法編集委員会「逐条解説 建築基準法」（平成24年12月10日初版発行、株式会社ぎょうせい）からの抜粋

「国宝などの文化財は先人が我々に伝えた貴重な財産であり、これを保存し、後世に伝え、あるいはその活用を図って、国民ひいては世界の文化に寄与することは我々の任務である」

5

1. 木造天守復元

天守閣木造復元イメージCG



（2016年 株式会社竹中工務店 制作）

6

2. バリアフリー対応

昇降技術を入れたらどんなイメージ？



昇降技術 なし

19

2. バリアフリー対応

昇降技術を入れたらどんなイメージ？

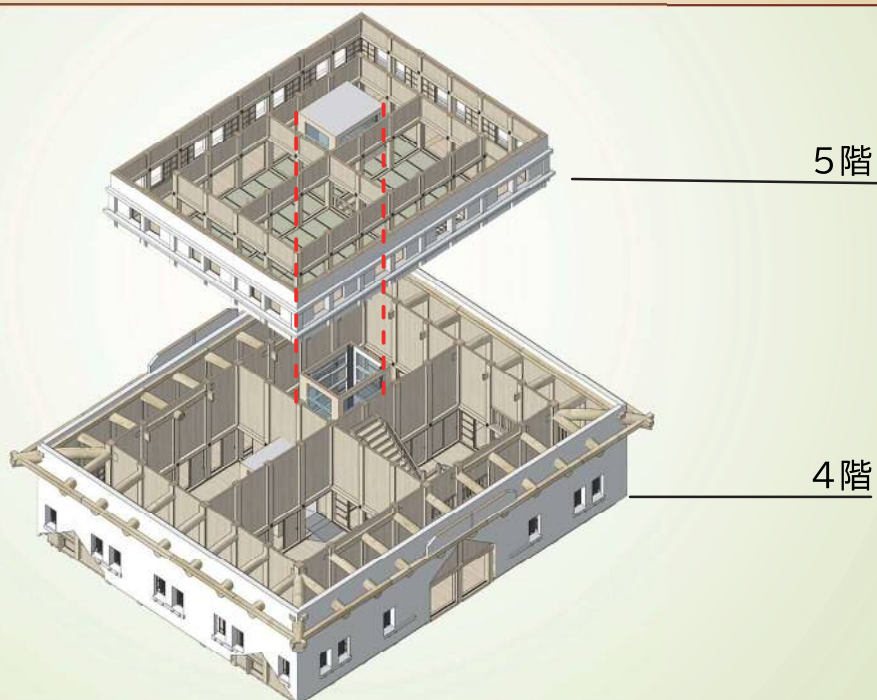


昇降技術 あり

20

2. バリアフリー対応

昇降技術を入れたらどんなイメージ？



21

2. バリアフリー対応

昇降技術を入れたらどんなイメージ？



22